

第15回男女共同参画推進委員会女性歯科医会講演会
(オンライン講演会) 開催要項

1 開催趣旨

日々の診療の中で難治性の痛みへの対応に苦慮することが多々あります。痛みを感じるメカニズムを理解することで、客観的評価の難しい痛みへの対応の幅を広げることに繋がります。

今回、新型コロナウイルス感染症により生活様式が変化中、感染拡大防止の観点から明海大学歯学部病態診断治療学講座の御協力のもと、オンライン講習会を開催するものです。

2 日 時

令和3年2月19日(金) 19時00分～20時30分

3 内 容

オンラインによる講演「痛い痛い飛んでいけ」はなぜ効くか？

基礎から臨床へのトランスレーショナルリサーチから明かす痛みの不思議

講 師 明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野

准教授 大野 由夏

4 対 象 者 会員(男女を問わず参加できます。)

5 申込方法

メールにて所属郡市区・会員氏名を明記の上、下記アドレスにお申込ください。

申込先メールアドレス yamada@saitamada.or.jp

オンライン講習会を受講いただくには、カメラとオーディオ機能のあるパソコンを御用意いただく必要があります。

受講者には開催日2日前にお申込いただいたメールアドレスにお知らせメールをお送りしますので、お知らせメール記載のURLからオンライン講習会に参加いただきます。

(ZOOMアプリをインストールする必要があります。)

6 受 講 料 無 料

7 募集人員 300名(定員になり次第、締切ります)

※令和3年1月29日(金)締切り厳守

8 そ の 他

日本歯科医師会生涯研修事業(取得単位3単位)

※単位の取得方法は講演会終了後、参加された先生にメールにてお知らせいたします。

「痛い痛い飛んでいけ」はなぜ効くか？

基礎から臨床へのトランスレーショナルリサーチから明かす痛みの不思議

明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野

准教授

大野 由夏



幼き頃、転んだあなたのそばに誰かが近寄り、「痛い痛い飛んでいけ〜！」と言われたことを覚えているだろうか？そして痛いのが飛んで行ったことも。

ヒトには元来、痛みを抑制するメカニズムが備わっている。その代表的なものとして、ゲートコントロールセオリーや下行性疼痛抑制系がある。近年、conditioned pain modulation (CPM) とよばれる痛みが痛みを抑制する現象が着目されている。これまでの研究から、CPM は内因性疼痛抑制系の機能の一部を反映していること、顎関節症など慢性疼痛患者では CPM、すなわち元来備わっているはずの痛みを抑制する作用が減弱すること、術前の CPM 評価は術後急性痛および遷延性術後痛の発症予測に応用できることが報告されてきた。

本講演では、はじめに痛みの上行路、すなわち侵害刺激の入力がどのようにして中枢神経系に伝わり痛みとして認識されるか復習したのちに、われわれが行ってきた CPM に関する 1) 基礎研究、2) 健康被験者を対象とした研究、3) 顎関節症患者を対象とした研究、そして 4) 明海大学において手術予定患者および慢性疼痛患者を対象に行った臨床研究成果から、痛みの不思議について皆様と一緒に考えていきたい。

<略歴>

【学歴】

2003 年 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業

2007 年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科麻酔・生体管理学分野博士課程修了(博士(歯学))

2009 年 Center for Sensory-Motor Interaction (SMI), Aalborg University, Denmark 留学

2011 年 Aalborg University, Doctoral School in Medicine, Biomedical Science and Technology 博士課程修了 (PhD in Clinical Science)

【職歴】

2007 年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員

2008 年 国立成育医療研究センター病院 手術・集中治療部 レジデント

2012 年 東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員

2013 年 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 新薬審査部 審査専門員

2015 年 明海大学歯学部病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野 准教授